



北海道大学オーブンエデュケーションセンター[®]
CENTER FOR OPEN EDUCATION, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンターは、情報通信技術を活用した教育・学習の支援を行うとともに、オープン教材 (Open Educational Resource:OER) を北海道大学の教育へ活用し、学習の機会を広げることを目的として設置されました。大学教育の改善・改革に関する取組みを支援し、大学教育の魅力を国内外に発信することを目指します。

<https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/>

北海道大学 オープン エデュケーション センター

CENTER FOR OPEN EDUCATION
HOKKAIDO UNIVERSITY



オープン教材制作案内



オープン教材の制作を 専門スタッフが力強くサポート

オープン教材とは、インターネット上で誰もが自由に使えるデジタル教材です。

オープンコースウェアで配信している授業記録型の教材、個人学習と集団学習をつなげる相互補完型の教材など、用途にあわせた教材制作をお手伝いします。オープン教材を作ることによって、教えと学びを自由に「表現」し、これから教育を楽しく「創造」してみませんか。



教材の設計と 学習プロセスの最適化

インストラクショナルデザインに基づいた教材設計を行います。学習目標を明確化し、練習問題を実施するなど、学習者の理解度向上につながる設計をサポートします。



適切な著作権処理と ライセンス管理

著作物の調査、利用許諾申請などを行います。差替えが必要な場合は、資料作成や素材の情報提供を行い、講義の本質が損なわれないよう柔軟かつ適切な著作権処理を行います。



文字では伝えきれない 情報を映像で表現

講義や実習、実験のようすを収録し、講義資料とともに編集を行います。視覚や聴覚に訴える映像の強みを活かし、講義目的に沿った教材として制作を行います。



目的にあわせて選ぶ 配信プラットフォーム

教材の目的や用途にあわせて、いくつかの公開先や公開方法に対応しています。ご相談ください。

▶ 一般公開

OCW では、映像教材や講義資料などのオープン教材を、広く一般に公開することができます。

▶ 限定公開（学内・協定校）

ELMS やセンター保有の moodle では、履修管理がともなう講義でのビデオ配信にも対応しています。



個人学習 × 集団学習 「ブレンディッド・ラーニング」という方法

近年、オンラインでの個人学習と教室での集団学習を組み合わせた教育実践が増えています。そのひとつである「反転授業」では、学習者が授業に先立ちオープン教材で知識を学びます。そして授業では、知識の確認やディスカッションなど、学んだ知識を「使う」活動を行います。オンラインでの予習と授業時間の活動との間に、明確な「つながり」をもたらすことが、授業の質を向上させるポイントです。



PARE プログラム

波多野 隆介（農学研究院）

国際プログラムで e ラーニングによる反転学習を導入し、時差の問題を解消。

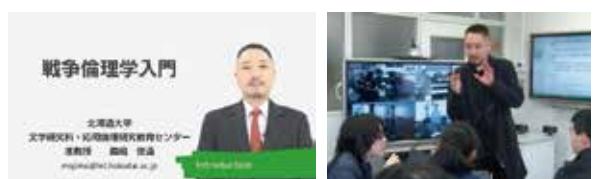


アジアの発展に主導的な役割を果たすことができる人材の育成を目的として、タイ、インドネシアの大学と協働事業を行っていますが、2時間の時差があることと、休日が異なることで、授業時間の設定に悩まされていました。e ラーニングを取り入れて知識習得を事前に済ませることで、問題がほぼ解決し、学生のディスカッションの質も非常に高まり、取組の成果に喜んでいます。（波多野 隆介）

戦争倫理学入門

眞嶋 俊造（文学研究科）

道内 7 大学間の連携授業で反転授業を導入。
学生のエンゲージメントの高まりを実感。



講師としても、反転授業の実施は楽しいものでした。議論に必要な最低限の知識をビデオ教材で担保できるので、授業では学生がさらに積極的になり、密度の濃い議論が交わされるようになりました。学生のエンゲージメントとコミットメントがあったと実感しています。沢山のスタッフや技術を投じて教材開発を行えることは、豊かで実りあることでした。（眞嶋 俊造）

英米文学

瀬名波 栄順（文学研究科）

学生の最終発表を毎年オープンコースウェアで
公開し、発表の質を高めるために活用。



毎年学生の最終プレゼンテーションのようすを収録し、OCW で公開しています。授業では、OCW に公開している前年までの様子を頻繁に学生に見せます。学生は教室外でも参考にできるので、発表のイメージ作りに利用しているようです。こうした取組の成果もあって、語学力や発表の質も年々レベルが上がっています。国際交流の思い出作りにも役立っています。（瀬名波 栄順）

✉ オープン教材に関するお問合せ

電話：011-706-8080（代表）

メール：contact@open-ed.hokudai.ac.jp

オープンエデュケーションセンターでは、オープン教材制作のご相談を随時受付しております。通常の講義で使用する教材のほかにも、講演会や定期的に開催される講座、一般セミナーなどの講義収録と教材化のサポートも行っております。お気軽にお問い合わせください。